

静岡市薬剤師会 御中

令和6年5月29日
静岡済生会総合病院 薬剤部

令和6年度 臨時採用のご案内

いつもお世話になっております。新規採用が決定した医薬品（院外限定採用薬を含む）について連絡します。採用薬は、令和6年6月5日より処方開始となります。

院内院外採用

タシグナカプセル150mg (ノバルティスファーマ)

効能・効果

慢性期又は移行期の慢性骨髄性白血病

用法・用量

通常、成人にはニロチニブとして1回400mgを食事の1時間以上前又は食後2時間以降に1日2回、12時間毎を目安に経口投与する。

ただし、初発の慢性期の慢性骨髄性白血病の場合には、1回投与量は300mgとする。なお、患者の状態により適宜減量する。

薬価 1カプセル 150mg 3,516.5円

ボイデヤ錠50mg (アレクシオンファーマ)

効能・効果

発作性夜間ヘモグロビン尿症

用法・用量

通常、成人には、補体(C5)阻害剤との併用において、ダニコパンとして1回150mgを1日3回食後に経口投与する。なお、効果不十分な場合には、1回200mgまで増量することができる。

薬価 1錠 50mg 2,259.2円



ユリス錠 1mg (持田製薬)

効能・効果

痛風、高尿酸血症

用法・用量

通常、成人にはドチヌラドとして1日0.5mgより開始し、1日1回経口投与する。その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に増量する。維持量は通常1日1回2mgで、患者の状態に応じて適宜増減するが、最大投与量は1日1回4mgとする。

薬価 1錠 1mg 50.5円

ロズリートレクカプセル 200mg (中外製薬)

効能・効果

NTRK 融合遺伝子陽性の進行・再発の固形癌

ROS1 融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

用法・用量

<NTRK 融合遺伝子陽性の進行・再発の固形癌>

通常、成人にはエヌトレクチニブとして1日1回600mgを経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。通常、小児にはエヌトレクチニブとして1日1回300mg/m²(体表面積)を経口投与する。ただし、600mgを超えないこと。なお、患者の状態により適宜減量する。

<ROS1 融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌>

通常、成人にはエヌトレクチニブとして1日1回600mgを経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。

薬価 1カプセル 200mg 10,073円

アドトラザーザ皮下注 150mg シリンジ (レオファーマ)

効能・効果

既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎

用法・用量

通常、成人にはトラロキヌマブ(遺伝子組換え)として初回に600mgを皮下投与し、その後は1回300mgを2週間隔で皮下投与する。

薬価 1筒 150mg 29,295円

テゼスパイア皮下注210mgペン

(アストラゼネカ)

シリンジより切替

効能・効果

気管支喘息（既存治療によっても喘息症状をコントロールできない重症又は難治の患者に限る）

用法・用量

通常、成人及び12歳以上の小児にはテゼペルマブ（遺伝子組み換え）として1回210mgを4週間隔で皮下に注射する

薬価 1筒 210mg 178,182円

院外限定採用薬

【般】シクロスポリンカプセル10mg

【般】シクロスポリンカプセル50mg

効能・効果

○下記の臓器移植における拒絶反応の抑制

腎移植、肝移植、心移植、肺移植、膵移植、小腸移植

○骨髄移植における拒絶反応及び移植片対宿主病の抑制

○ベーチェット病（眼症状のある場合）、及びその他の非感染性ぶどう膜炎（既存治療で効果不十分であり、視力低下のおそれのある活動性の中間部又は後部の非感染性ぶどう膜炎に限る）

○尋常性乾癬（皮疹が全身の30%以上に及ぶものあるいは難治性の場合）、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、乾癬性関節炎

○再生不良性貧血、赤芽球瘡

○ネフローゼ症候群（頻回再発型あるいはステロイドに抵抗性を示す場合）

○全身型重症筋無力症（胸腺摘出後の治療において、ステロイド剤の投与が効果不十分、又は副作用により困難な場合）

○アトピー性皮膚炎（既存治療で十分な効果が得られない患者）

○細胞移植に伴う免疫反応の抑制

用法・用量

〈腎移植〉：通常、移植1日前からシクロスポリンとして1日量9～12mg/kgを1日2回に分けて経口投与し、以後1日2mg/kgずつ減量する。維持量は1日量4～6mg/kgを標準とするが、症状により適宜増減する。

〈肝移植〉：通常、移植1日前からシクロスポリンとして1日量14～16mg/kgを1日2回に分けて経口投与する。以後徐々に減量し、維持量は1日量5～10mg/kgを標準とするが、症状により適宜増減する。

〈心移植、肺移植、膵移植〉：通常、移植1日前からシクロスポリンとして1日量10～15mg/kgを1日2回に分けて経口投与する。以後徐々に減量し、維持量は1日量2～6mg/kgを標準とするが、症状により適宜増減する。

〈小腸移植〉：通常、シクロスポリンとして1日量14～16mg/kgを1日2回に分けて経口投与する。以後徐々に減量し、維持量は1日量5～10mg/kgを標準とするが、症状により適宜増減する。ただし、通常移植1日前からシクロスポリン注射剤で投与を開始し、内服可能となった後はできるだけ速やかに経口投与に切り換える。

〈骨髄移植〉：通常、移植1日前からシクロスポリンとして1日量6～12mg/kgを1日2回に分けて経口投与し、3～6ヵ月間継続し、その後徐々に減量し中止する。

〈ベーチェット病及びその他の非感染性ぶどう膜炎〉：通常、シクロスポリンとして1日量5mg/kgを1日2回に分けて経口投与を開始し、以後1ヵ月毎に1日1～2mg/kgずつ減量又は増量する。

維持量は1日量3～5mg/kgを標準とするが、症状により適宜増減する。

〈乾癬〉：通常、1日量5mg/kgを2回に分けて経口投与する。効果がみられた場合は1ヵ月毎に1日1mg/kgずつ減量し、維持量は1日量3mg/kgを標準とする。なお、症状により適宜増減する。

〈再生不良性貧血〉：通常、シクロスポリンとして1日量6mg/kgを1日2回に分

けて経口投与する。なお、患者の状態により適宜増減する。

〈ネフローゼ症候群〉：通常、シクロスポリンとして下記の用量を1日2回に分けて経口投与する。なお、症状により適宜増減する。

(1) 頻回再発型の症例：成人には1日量1.5mg/kgを投与する。また、小児の場合には1日量2.5mg/kgを投与する。

(2) ステロイドに抵抗性を示す症例：成人には1日量3mg/kgを投与する。また、小児の場合には1日量5mg/kgを投与する。

〈全身型重症筋無力症〉：通常、シクロスポリンとして1日量5mg/kgを1日2回に分けて経口投与する。効果がみられた場合は徐々に減量し、維持量は3mg/kgを標準とする。なお、症状により適宜増減する。

〈アトピー性皮膚炎〉：通常、成人にはシクロスポリンとして1日量3mg/kgを1日2回に分けて経口投与する。なお、症状により適宜増減

するが1日量5mg/kgを超えないこと。

〈細胞移植に伴う免疫反応の抑制〉：再生医療等製品の用法及び用量又は使用方法に基づき使用する。

薬価 1カプセル 10mg 34.6円
 1カプセル 50mg 109.8円

ナディック錠30mg (住友ファーマ)

効能・効果

本態性高血圧症

狭心症

頻脈性不整脈

用法・用量

ナドロールとして、通常成人に1回30～60mgを1日1回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

薬価 1錠 30mg 41.2円

ビブラマイシン錠100mg (ファイザー) (自費) 産婦人科限定

効能・効果

〈適応菌種〉

ドキシサイクリンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、淋菌、炭疽菌、大腸菌、赤痢菌、肺炎桿菌、ペスト菌、コレラ菌、ブルセラ属、Q熱リケッチア(コクシエラ・ブルネティ)、クラミジア属

〈適応症〉

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、骨髄炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎(急性症、慢性症)、尿道炎、淋菌感染症、感染性腸炎、コレラ、子宮内感染、子宮付属器炎、眼瞼膿瘍、涙嚢炎、麦粒腫、角膜炎(角膜潰瘍を含む)、中耳炎、副鼻腔炎、歯冠周囲炎、化膿性唾液腺炎、猩紅熱、炭疽、ブルセラ症、ペスト、Q熱、オウム病

用法・用量

通常成人は初日ドキシサイクリン塩酸塩水和物として1日量200mg(力価)を1回又は2回に分けて経口投与し、2日目よりドキシサイクリン塩酸塩水和物として1日量100mg(力価)を1回に経口投与する。なお、感染症の種類及び症状により適宜増減する。

薬価 1錠 100mg 22円

フォゼベル錠 5mg、10mg (協和キリン)

効能・効果

透析中の慢性腎臓病患者における高リン血症の改善

用法・用量

通常、成人にはテナパノルとして1回5mgを開始用量とし、1日2回、朝食及び夕食直前に経口投与する。以後、症状、血清リン濃度の程度により適宜増減するが、最高用量は1回30mgとする。

薬価	1錠 5mg	234.1円
	1錠 10mg	345.8円

ソグルーヤ皮下注 10mg (ノボノルディスク)

効能・効果

- ・成長ホルモン分泌不全性低身長症
- ・成人成長ホルモン分泌不全症 (重症に限る)

用法・用量

- ・通常、ソマプシタン (遺伝子組換え) として0.16mg/kgを、週1回、皮下注射する。(小児GHD)
- ・通常、ソマプシタン (遺伝子組換え) として1.5mgを開始用量とし、週1回、皮下注射する。(成人GHD)

薬価	1筒 10mg	52,476円
----	---------	---------

ご多用中とは存じますが、会員の皆様への周智の程、宜しくお願いいたします。